

琉球文化のルネサンスの捉え方

1. 本会議の前提条件と検討事項
2. 琉球文化とは(案)
3. 「琉球文化のルネサンス」イメージ像(案)
4. 復興基本計画における取組推進の方法(案)
5. 施策別の目標とするすがた(たたき台)



特命推進課
令和2年10月23日



1. 本会議の前提条件と検討事項

1 議論の前提条件

沖縄県では首里城に象徴される歴史・文化の復興を目指し、9つの方向性を示す「首里城復興基本方針」を策定した。その中でも首里城を中心とした歴史を体現できるまちづくりの推進、「琉球文化のルネサンス」を興すことが大きな柱である。

そこで、「琉球文化のルネサンス」については、単なる方針の1項目ではなく、「首里城を中心とした歴史文化の再評価と復興」という視点から議論を進めていただきたい。

首里城と密接なかかわりを持つ文化についての取組を展開することで、文化の振興、ひいては離島を含め、沖縄全体における歴史文化の再認識、復興・新たな文化の創出と活用へつなげ、沖縄振興が達成できるものと考えている。

2 議論していただきたい事項

首里城復興基本計画(たたき台)の「琉球文化のルネサンス」に関する「基本施策のねらい」「目標となるすがた」「主な課題」「目標達成への道筋」について以下の観点から議論していただきたい。

- ・ 首里城を中心とした、首里城に象徴される歴史・文化を深く理解していただくこと、広く体現していただくには、どのように取り組むべきか。
- ・ 首里城に象徴される歴史・文化を資産として活用するためには、どのように取り組むべきか。

2. 琉球文化とは(案)

琉球文化の性格と形成過程

琉球文化(沖縄文化)の性格は、大きく3つに整理できる。これら3つの性格は互いに影響して発達したものである。琉球王国という独自の国を形成した歴史的経緯や、首里城を核とした政治、外交、宗教、文化といった様々な影響のもと、今日に至る多様かつ独自性の高い文化となったものと捉えられる。

■風土的性格

亜熱帯の島嶼地域を背景に形成。海を目前にし、小さな島に生きる人々が生み出した世界観。庶民階層による民俗文化。
例: 祭祀や信仰、染織や漆器等の生産環境

影響

琉球全土に
波及しながら発展

■王朝性

首里城を核に形成。首里の上級階層にて洗練され、その後、地域へ波及され、現在の伝統文化の骨格となる。
例: 城を維持する建築技術、日常生活の衣装・道具等の生産技術、飲食や芸能等

影響

■国際性

中国・日本・朝鮮・東南アジア諸国との外交・貿易により形成。
例: 三線、泡盛、亀甲墓

琉球文化の構成

琉球文化の形成過程を整理すると、琉球文化は大きく「首里城と関係性の強い文化」と「民俗文化」に整理できる。ただし、これらは完全に区分できるものではなく、相互に関連しあって現在にも継承されている。
また、伝統的な要素をもとに、新たに創造する取組も行われている。

民俗文化（地域文化）

- ・しまくうとうば
 - ・伝統的な行事、食文化伝統的な文化
 - ・有形及び無形の文化財
- ※王朝文化に由来するものは便宜上除く

首里城と関係性の強い文化

- ・しまくうとうば
 - ・組踊、さんしん音楽、琉球舞踊その他の伝統芸能
 - ・空手道・古武道
 - ・びんがた、織物、陶器、漆器その他の伝統工芸
 - ・伝統的な行事、食文化伝統的な文化
 - ・有形及び無形の文化財
 - ・歴史的又は文化的景観
- ※王国時代以降に発展したものを含む。現在は県全土に広く波及

3. 「琉球文化のルネサンス」イメージ像(案)

- 「ルネサンス」とは、14～15世紀のヨーロッパ社会で起こった革新的な文化運動。古代文化を理想とし、それを復興させつつ新しい文化を生み出そうとする運動で、思想、文学、美術、建築など多方面に渡った。(ブリタニカ国際大百科事典 小項目事典より)

- 「琉球文化のルネサンス」とは、**県民が歴史・文化の理解を深め、それを大切にしつつ、自らが主体的に関わりながら、新しい文化の価値や生活スタイルを生み出すこと、その大きな活動と考えられる。**



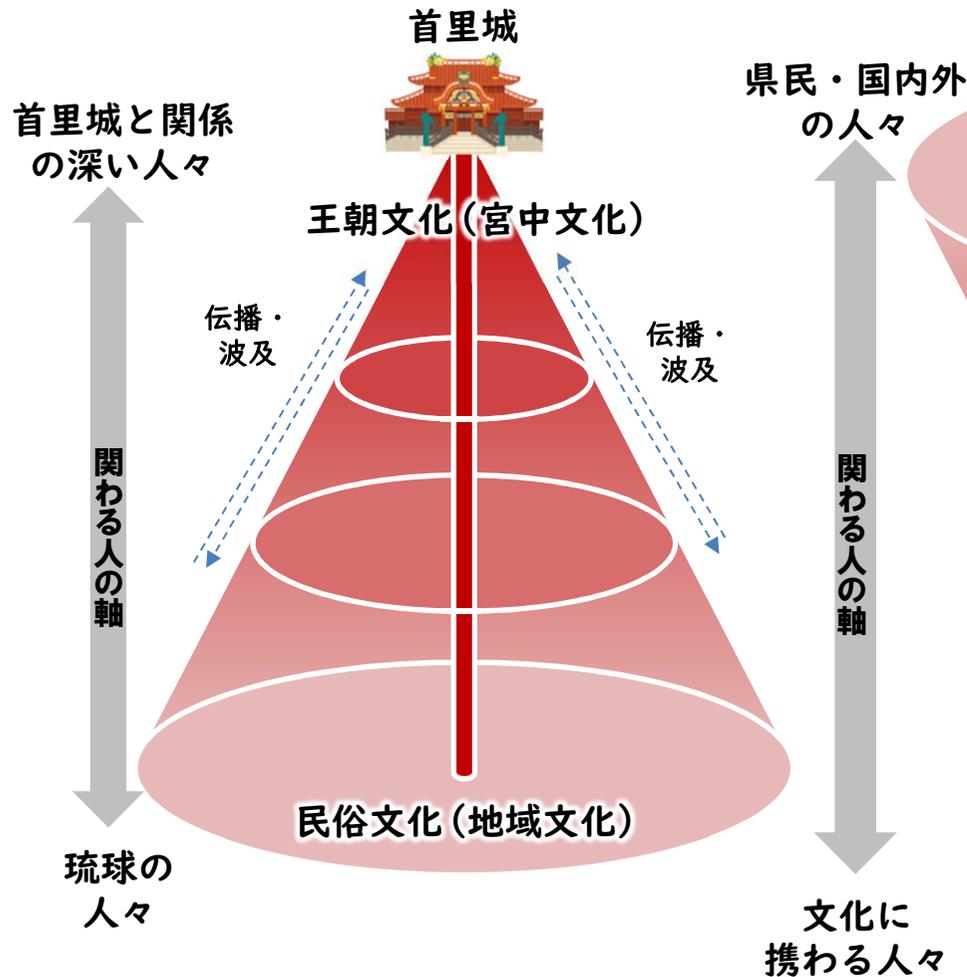
首里城復興に当たっては、

県民が、首里城を中心とした歴史・文化の理解を深め、自信と誇りを高めるとともに、県外の人びとに対して、沖縄の価値を高めることで沖縄振興に貢献していくことが重要である。

従来の取組 + 県民等の参加 + 復興・創造・産業化⇒文化を軸にした沖縄の振興

3. 「琉球文化のルネサンス」イメージ像(案)

かつての首里城と琉球文化

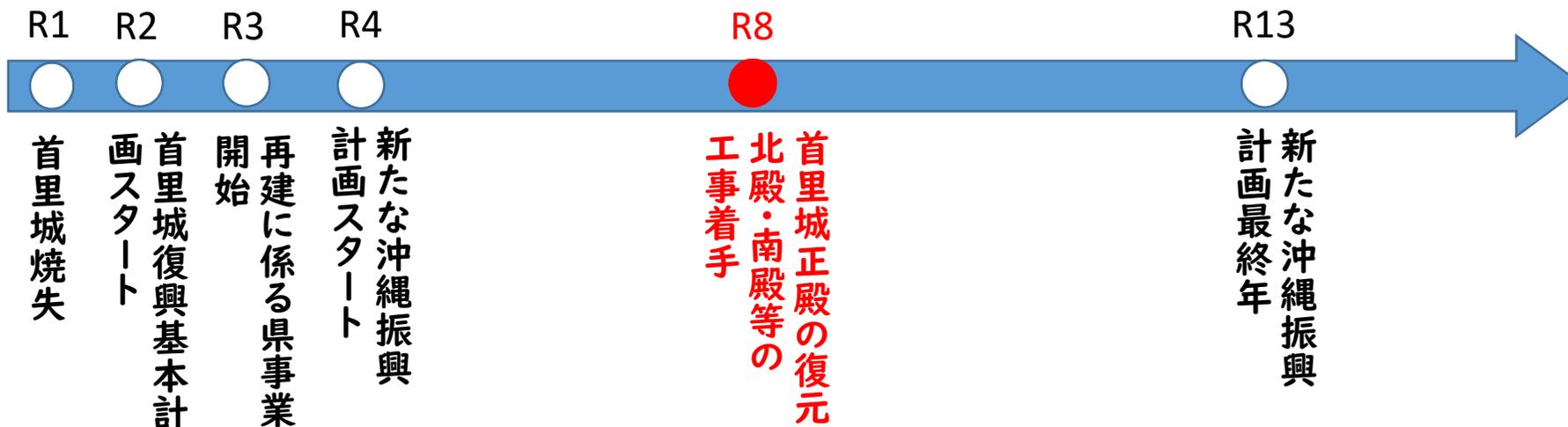


琉球文化のルネサンス

琉球文化のルネサンス



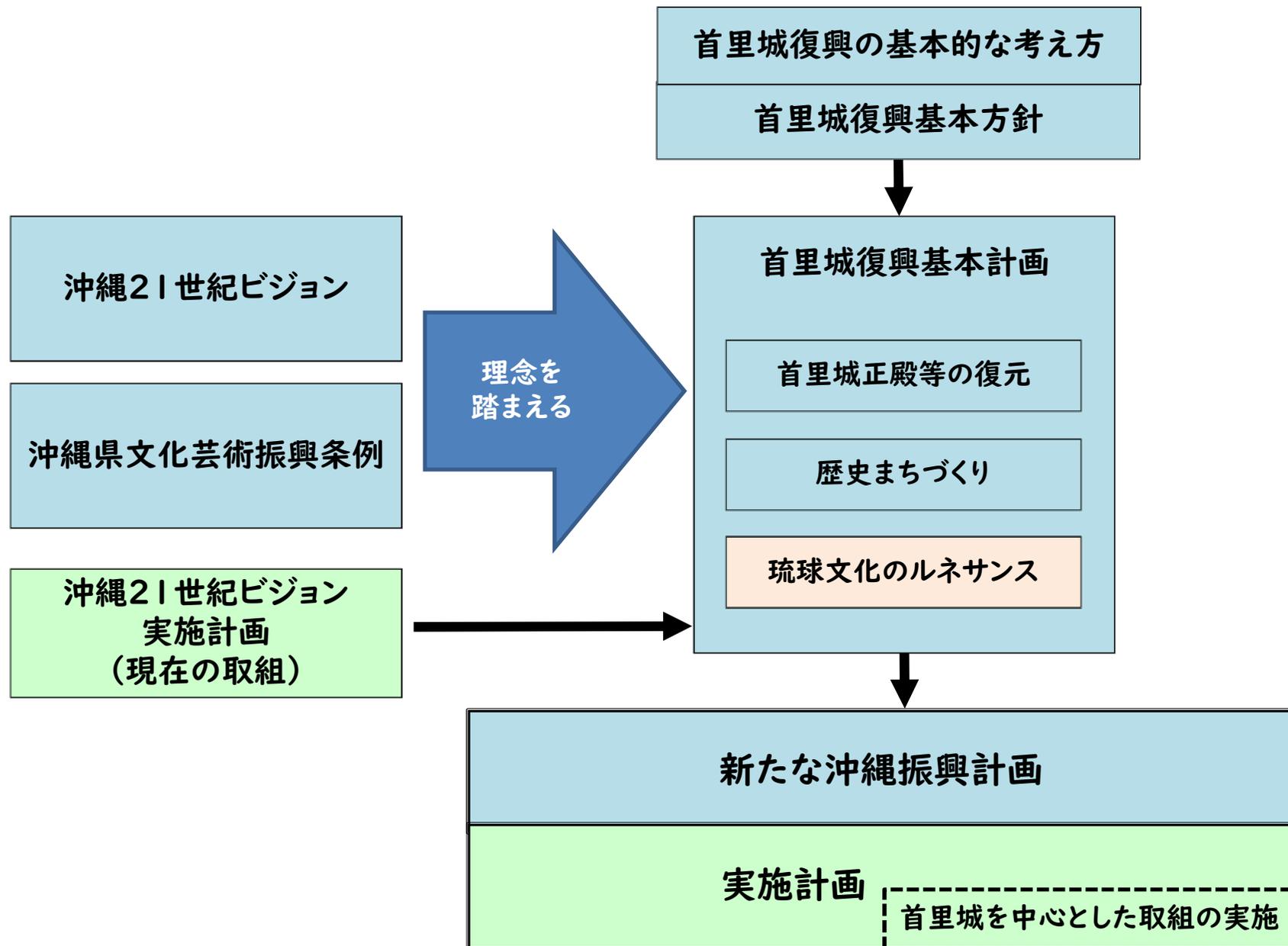
4. 復興基本計画における取組推進の方法(案)



目標とする姿

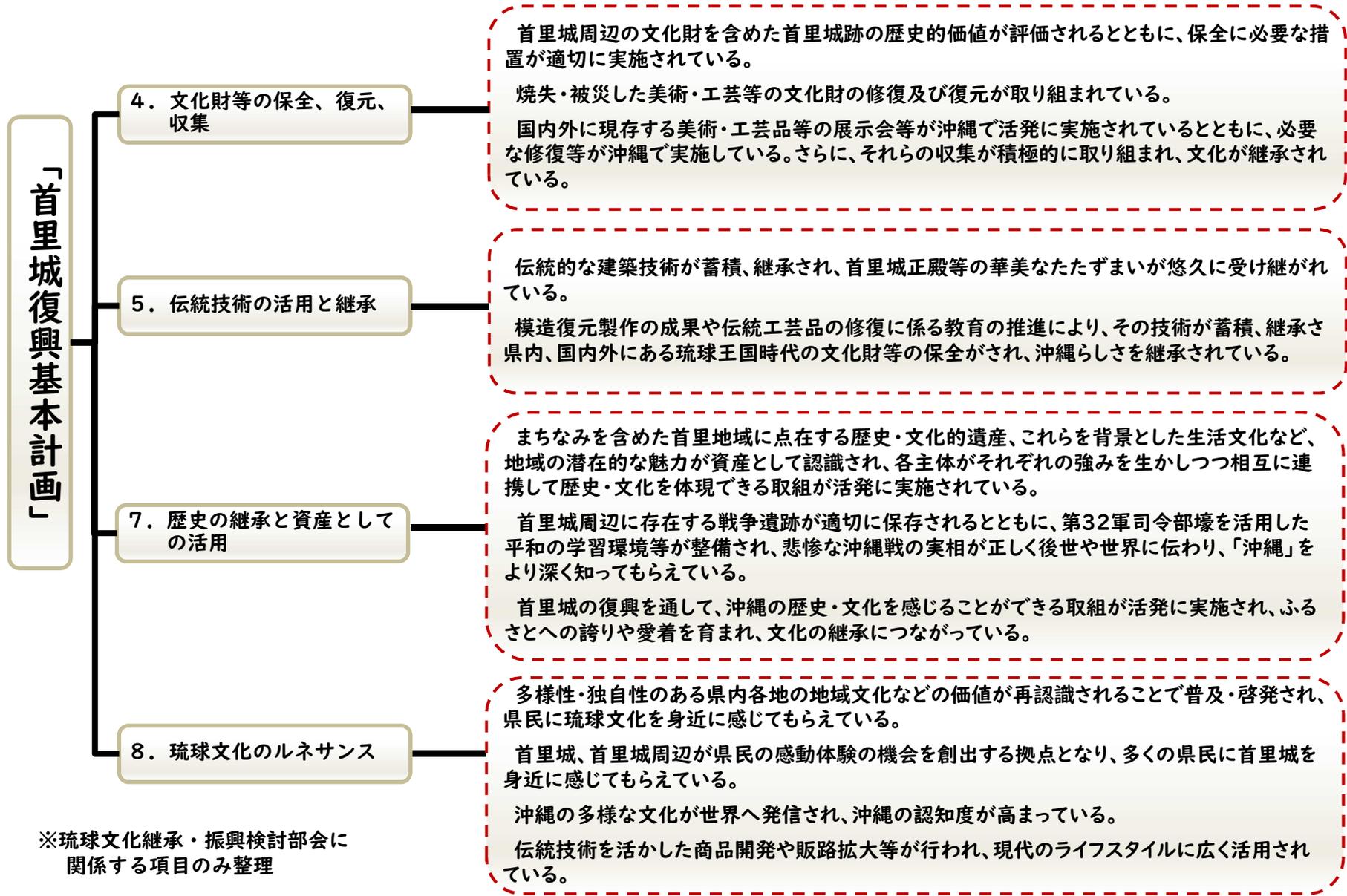
- 県民が、首里城を中心とした歴史・文化の理解を深め、広く体現し、自信と誇りを高めている。
- 首里城に象徴される歴史・文化を資産として活用し、県外の人びとに対して沖縄の価値を高めることで沖縄振興に貢献している。

4. 復興基本計画における取組推進の方法(案)



5. 施策別の目標とするすがた（たたき台）

【目標となるすがた（たたき台）】



※琉球文化継承・振興検討部会に
関係する項目のみ整理